

研究・調査報告書

報告書番号	担当
555	高崎健康福祉大学薬学部細胞生理化学研究室
題名 (原題/訳)	
Effects of beer, wine, and liquor intakes on bone mineral density in older men and women. 老齢男性と老齢女性の骨密度に与えるビール、ワイン、アルコール飲料の効果	
執筆者	
Tucker KL, Jugdaohsingh R, Powell JJ, Qiao N, Hannan MT, Sripanyakorn S, Cupples LA, Kiel DP.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Clin Nutr. 89(4): 1188-1196 (2009)	
キーワード	
ビール、ワイン、アルコール飲料、加齢、骨密度	
要旨	
<p>背景: 中等度量のアルコール摂取は骨に対して有益な効果を持つことが報告されている。しかし、アルコールの種類については検討されていない。</p> <p>目的: この研究は、アルコールの摂取量やアルコール飲料の種類が骨密度 (BMD) と関連しているか検討した。</p> <p>実験計画: 交絡因子を補正して、フラミンガム子孫研究 (Framingham Offspring cohort、年齢 29-86 歳) の 1182 名の男性、1289 名の閉経後の女性、248 名の閉経前の女性で、臀部 3ヶ所と腰椎の骨密度と、アルコール摂取との関連について検討した。</p> <p>結果: 男性は主としてビールを飲み、女性は主としてワインを飲んでいて、飲酒しない者と比較して、アルコールあるいはビールを 1 日 1-2 単位摂取している男性の臀部 BMD は 3.4-4.5% 高く、一方、アルコールあるいはワインを 1 日 2 単位以上摂取している閉経後の女性の臀部および腰椎の BMD は 5.0-8.3% 有意に高い値であった。1 日 2 単位以上のアルコール飲料を摂取している男性の臀部および腰椎の BMD は、1 日 1-2 単位のアルコール飲料を摂取している男性よりも 3.0-5.2% 有意に低かった。ケイ素摂取量でビールの効果について補正すると、各群での差異は有意でなくなったが、他のアルコールの種類の効果については影響しなかった。閉経前の女性のデータは統計的検出量が低く、関連性は有意でなかった。</p> <p>結論: 中等度量のアルコール摂取は男性および閉経後の女性の骨に良い影響を与えると考えられる。しかし、男性で、アルコール飲料の高用量 (1 日 2 単位以上) の摂取は BMD を低下させる。BMD との関連性は、アルコール飲料と比べてビールあるいはワインで高く、このことはエタノール以外の成分が骨の健康に貢献していることを示唆するものである。BMD に対するビールの効果にはケイ素が関連していると思われるが、ワインやアルコール飲料の場合は異なると思われる。その他の成分の関与については更に検討が必要である。</p>	